

環境カウンセラーちば

第57号
 特定非営利活動法人
 環境カウンセラー
 千葉県協議会

環境カウンセラーは、環境省により認定された環境に関する専門家です。地球温暖化対策、廃棄物対策、環境教育・環境学習、環境経営など、お気軽にご相談下さい。

コロナ禍危機後の取組は、SDGsで！

理事長 吉田 昌弘

新型コロナウイルス感染症はいまだ終息に向かうどころか、第2波に突入の兆しさあり、EC会員の皆様にとって、日頃の生活に制約と自粛で不便を感じながらお過ごしのことと存じます。

よく危機の後にはチャンスありという言葉聞きます。昨年来の台風と豪雨の来襲と今年も豪雨などの気候変動の危機、そしてコロナ危機と、市民生活への影響は「想定外(いままで、経験したことがない)」という言葉は、もう通用しなくなっています。

しかし、私達はその危機から、立ち直り克服してきた歴史があります。その原因の本質を共有化し、恒久的な対策と同時に身近な備えも大切です。

私達にすぐにできることとして、以下のSDGsは、その取組みの目標を明確にして、わかりやすく皆で取組めるツールとしてお奨めできます。

地球温暖化は、「Think Globally, Act Locally! つまり「グローバル」で、身近な私達の周囲から、より活発な行動に移していきたいと考えます。

17のゴールのうち、No.4：環境学習、No.6：水環境、No.7：うちエコ診断、No.11：廃棄物対策、No.12：EMS、No.13地球温暖化、No.17：自治体、学校、市民などとのパートナーシップ。

のテーマをみなさんと共に、自治体とも連携し、待ったなしに取組みを開始していきたいと考えます。オンライン会議なども活用しながら、具体化していきますので、皆様のご協力をお願い致します。



持続可能な開発目標 (SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された2030年に向けての国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

環境カウンセラー千葉県協議会 (EC千葉)は、SDGsに向けて県内のステークホルダーに対して、様々な取組を行っています。

SDGsのURL:<https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs/17goals/>

第18回通常総会を開催しました。

第18回通常総会を2020年6月14日(日)に開催しました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年のように会員全員が一つの会場に集って開催することが困難であったために、書面による表決とWeb総会によって議案の審議・表決を行いました。

また、このような変則的な方式での総会開催となったために、恒例の総会特別講演(環境セミナー)の実施も断念せざるをえませんでした。

会員総数84名のうち、69名が下記の議案に対し書面表決(第1~3号議案すべてを承認62名、委任7名)されました。このうち22名はWeb総会にも出席されました。

Web総会は、吉田昌弘理事長が議長となり、書面表決に提案された次の議案を審議し、各議案に対する異議および緊急動議の発議がなく、各議案とも原案どおり承認されました。

- (1) 第1号議案「2019年度事業報告ならびに決算報告」
- (2) 第2号議案「2019年度監査報告」
- (3) 第3号議案「2020年度事業計画案ならびに予算案」

なお、今回は、役員任期途中での総会ですので、役員改選は行われませんでした。

2019年度事業実施の概要

- (1) 環境保全推進事業としては、総会特別講演・環境セミナー「地球温暖化と異常気象、我々はどう向き合うか」を環境公開講座として一般市民へも公開して開催した。
「自然観察会」(勝浦市「鵜原理想郷」)を本年度も継続開催したが、「施設見学会」、「秋季研修会」は実施できなかった。本年度も環境教育プログラム「わくわく探検隊～自然となかよし～」を実施してきたことは地域貢献活動としても大きな成果であった。
- (2) 環境保全啓発事業としては、「エコメッセ2019 in ちば」をはじめ、「千葉市」、「船橋市」、「鎌ヶ谷市」、「君津市」などの環境フェア等に参加し、当協議会の活動を紹介し、うちエコ診断の紹介と受診の働きかけを行った。
- (3) 講師派遣事業においては、環境学習支援団体として、小・中学生、一般市民等の環境教育、環境学習への講師派遣、その他の自治体・地域での環境学習の支援に取り組んだ。
「うちエコ診断」については、自主事業として千葉市等と連携し、家庭エコ診断を実施した。
- (4) 行政機関、事業者などに対する事業としては、千葉県環境財団EA21地域事務局と連携し、「エコアクション21普及セミナー」を中心としたエコアクション21の普及活動を進めた。また、千葉商工会議所と連携し、「企業環境セミナー」、「ISO内部監査員養成講座」を開催し、中小企業の環境経営の支援に継続して取り組んだ。
- (5) 環境問題やまちづくりに関する諸調査、政策の提案に関する事業については、環境省施策への対応、県や市の事業への参加・協力に取り組みつつ、当協議会の活動のベースとして、地球温暖化対策活動、廃棄物対策活動および生物多様性研究会活動を継続した。
水環境対策活動においては、これまでどおり県が主催する浄化槽啓発講習に講師派遣を計画したが、2019年秋の台風19号等の大規模災害によって講習会そのものの実施が不可能となった。
- (6) その他の事業として、広報「環境カウンセラーちば」を発行し、ホームページのアップデートを継続した。また、環境カウンセラー全国連合会(ECU)への協力関係を従来どおり進めた。

環境カウンセラー千葉県協議会役員・役職一覧

(2020年7月5日付で一部変更)

[任期:2019年5月19日～2021年通常総会]

役員

理事(18名)

青木 誠	秋葉 信夫	阿部 勳夫	井町 臣男
潟端 尊史	上口 清彦	國井 茂樹	國廣 隆紀
佐藤 ミヤ子	志澤 達司	橋本 正	服部 達雄
濱中 道人	松村 利治	見並 勝佳	茂利 晃
山畑 祐哉	吉田 昌弘		

監事(2名)

有馬 富穂	戸村 泰
-------	------

役職

理事長	吉田 昌弘		
副理事長	上口 清彦	副理事長	松村 利治
副理事長	山畑 祐哉		
事務局長	井町 臣男 [☆]		
事務局次長	服部達雄		
総務部長 兼総務担当	松村 利治 [☆]	地球温暖化対策センター長	國廣 隆紀
副部長兼経理担当	河井 恵子 [☆]	副センター長	橋本 正
広報部長兼情報部長	見並 勝佳	副センター長	服部 達雄
副部長(HP担当)	秋葉 信夫	副センター長	阿部 勳夫
副部長(広報担当)	服部達雄	廃棄物対策センター長	潟端 尊史
事業部長	見並 勝佳	副センター長	船橋 孝之
副部長(企画担当)	茂利 晃	副センター長	濱中 道人
副部長(エコ検定担当)	橋本 正	環境学習センター長	吉田 昌弘
・丸山川 PJ 担当	見並 勝佳	副センター長(市民啓発G)	佐藤 ミヤ子
・大多喜町 PJ 担当	國廣 隆紀	副センター長	志澤 達司
EMS支援センター長	山畑 祐哉	副センター長	綿貫 沢
副センター長	青木 誠	水環境対策センター長	上口 清彦
副センター長	服部 達雄	副センター長	久保田 隆
副センター長	濱中 道人	副センター長	井町 臣男
ECU 担当	橋本 正 ^{☆☆}	うちエコ診断実施機関責任者	吉田 昌弘
EA21 事務局担当	服部 達雄	副責任者	佐藤 ミヤ子

顧問(3名)、アドバイザー(6名)

顧問	荒野 喆也	アドバイザー	倉田 智子
顧問	土田 茂通	アドバイザー	小関 光二
顧問	吉海 照直	アドバイザー	佐藤 素子
		アドバイザー	辻川 毅
		アドバイザー	野口 久
		アドバイザー	古畑 義正

(注) [☆]印:2020年7月5日付^{☆☆}印:2020年6月26日 ECU 総会において ECU 理事に就任(前任の國廣理事と交代)

※國井理事は、引き続き事務局長および総務部のサポートを行います。

環境マネジメントシステム支援センター2019年度活動報告

環境マネジメントシステム支援センターの活動は、環境マネジメントシステム（EMS）の普及およびその効果向上をとおして環境問題、最近では重要課題の一つである地球温暖化の緩和（CO2 排出量削減）に貢献することを目指しています。

1) 企業環境セミナー

本セミナーはEMSの普及を目指して千葉商工会議所との共催で毎年開催しています。

2019年11月13日（水）13:00～16:30に第22回目を千葉商工会議所第2ホールで開催しました。講師を含めて45名の参加がありました。

第1部は、ちばぎん総合研究所調査部副部長下出直樹様に「千葉県経済の現状と今後の見通し～企業が取り組むべき課題～」と題して講演を頂きました。最近の県内企業の経営に関する現状分析と方向性のお話で、企業が取り組むべき課題にヒントを与えて頂きました。

第2部では2件の事例紹介を頂きました。

1件目は日刊工業新聞社 編集局第二産業部 松木 喬様より「企業成長のためのSDGsを指向した取組み事例」と題して、SDGsの取組みを行っている国内企業の取材に基づく沢山の興味ある事例を紹介頂いた。

2件目はTOTO(株)浴室事業部 白澤 郷一様と中澤 聖司様より、「TOTOグループの環境への取組み」について佐倉工場の事例を中心に紹介頂きました。



2) ISO14001&9001 内部監査員養成講座

千葉商工会議所との共催で2日間コースを毎年各2回開催しています。講師は第三者審査や養成講座の経験豊かなEMS支援センター会員が務めています。

ISO 14001の第31回を2019年9月18・19日に千葉商工会議所第2ホールで17名の参加を得て開催しました。講師は弊会員の青木誠と長田彰が務め、事業活動との一体化を意識した内部監査を指導しました。



具体的なカリキュラムは、①環境経営の取組み、②ISO 14001の解説、③内部監査の進め方、④ワークショップ（チェックリストの作成、模擬監査の実施、模擬監査結果の発表）の4つに大別でき、パフォーマンスの継続的改善に重点を置きました。

ISO 9001の第27回を2019年10月16・17日に同上ホールで7名の参加を得て開催しました。講師は弊会員の志澤達司と熊田成人が務め、規格改正による「リスクと機会」「経営の品質管理」をも取り込んだ最新の講座を提供しました。

上記の講座の他に、千葉県職業能力開発協会主催の内部監査員養成セミナーに講師派遣の支援を行っています。2019年度はISO 14001が7月、ISO 9001が9月と1月の2回でした。

3) 2020年度の予定（詳細はEC千葉HPで案内します。）

新型コロナ禍に鑑みて延期・期日変更をしています。

- ・エコアクション21普及セミナー：期日未定延期
- ・企業環境セミナー：11月11日（水）
- ・ISO 14001 内部監査員養成講座：9月16日・17日、2021年3月10・11日
- ・ISO 9001 内部監査員養成講座：10月14日・15日、2021年3月17日・18日

（文責 山畑祐哉）

環境学習センター2019年度の活動

1. 公民館や市役所からの依頼により、一般市民を対象に、2019年度は5回の講演を実施。いずれも“参加者と共に学び考える”のコンセプトのもと、「毎日の暮らしから考える食品ロスとその影響」と「地球環境について」のテーマで、参加者と充実した時を共有させていただきました。（いずれも講師：佐藤）
 - ・市原市辰巳公民館主催(4月6日)：参加者46名、グループ型講座形式でしたが、40代～80代と幅広い世代層に苦心した一幕もありました。
 - ・市原市牛久集会場(7月10日)：地区の主婦10名、初体験の車座講座に戸惑いながらも熱く濃い時間を共有でき、啓発活動の原点を見た思いでした。
 - ・茂原市役所クリーンリサイクル推進委員会主催(9月18日)：地域全体を襲った「東日本豪雨災害」から日が浅い時期にもかかわらず60名もの方が参集。誰一人居眠りされる方もなく一緒に考える時間をいただくことが出来ました、感謝です。
 - ・茂原市役所五郷地区クリーンリサイクル推進委員会主催(11月24日)：先の講演に参加いただいた方からのリピート要請により実施。東日本豪雨の爪痕がまだ残っている中、36名の参加者それぞれの意見も交えたホットで有意な時間でした。
 - ・野田市関宿中央公民館主催(12月5日)：野田地区の上口さんのご尽力により実施。23名の参加者全員の熱気が伝わってくる時間でした。
2. 全国小中学校環境教育研究大会：綿貫さんのご尽力により、富里市根木名小学校において11月22日に開催された。氷雨降る寒い一日、東日本豪雨による休校の授業日数不足を補うため、先生方が各学校を留守に出来ない現実もありました。研究授業は非常に有益でした。
3. 環境学習センター会議：11回（うち相互研修：10回）
 - ・いろいろな興味ある講演がありました、ぜひ皆さんにもお聞きいただきたいですね。
4. 自然観察会：1回「鵜原理想郷ハイキング」
 - ・台風一過のさわやかな秋晴れの下、参加者一同思いっきりリフレッシュ出来た一日。
 - ・次回は多くの参加者と共に楽しさを共有したいですね、お待ちしております。
5. エコメッセ2019 in ちば出展：(来場者10,500名)
 - ・テーマ「東日本豪雨を考える」で24組の親子と共に考え合う事が出来ました。
 - ・呼気から排出されるCO2測定も実施した。
6. 各市主催「環境フェスティバル等」のイベントへの参加（5ヵ所）
(環境学習センター 吉田・佐藤・志澤・綿貫)

EC千葉の教育機関との対応—SDGsを意識して

環境学習センター 綿貫 沢

1. 教育機関（とくに学校）との連携をさらに強化し、SDGsを推進していきます。様々な機会を通して、SDGsの推進に向け、各学校及び教育委員会に協力を惜しまない覚悟で臨み、積極的に支援して参ります。例を挙げれば、次の通りです。小中学校や高等学校より環境に関する研修会の講師要請や出前授業に招聘されることがあります。その際、必ずSDGsのことに触れ、目標達成の一助に貢献することが重要です。
2. 教育の質の向上のためにSDGsのプログラム開発に努めます。
学校は従来からESDの推進を通して、環境教育をはじめ数々の教育目標の達成に向け、実践化を図っていますが、具体的なアプローチとしてSDGsを見据えつつ、学校や地域で足元の課題解決を大切にしてESDを推進していくことが必要です。そこで、「SDGsそのものの学習」「SDGs全体への貢献を意識した取り組み」等、児童生徒の実態に合わせて、EC千葉としてSDGsのプログラム開発に積極的に協力します。

2019年度うちエコ診断実施報告 うちエコ診断実施機関 EC千葉ネット

H30年から、環境省の「うちエコ診断への補助金」が打ち切られて以来、会員の協力のもとに、各自治体との連携をはかりながら今日に至っています。

1. 2019年度うちエコ診断実施状況

主 催	実施 件数	事後調査票 回収件数	回収率 (%)	最大削減量 (kg-CO2/年)	CO2 総削減 (kg-CO2/年)
千葉市地球温暖化 対策地域協議会	11	11	100	1,816	8,220
エコファースト君津 (地域活動応援事業)	6	5	83	1,157	3,460
合 計	17	16	94	-	11,680

2. 「2020年度うちエコ診断士登録時研修及び更新研修」の開催

日時：2020年6月27日（土）10:30～16:30

場所：千葉市民活動支援センター 談話室

主催：うちエコ診断実施機関 EC千葉ネット

目的：地方自治体、受診者それぞれの信頼に応え得る診断、次年度に繋がる
診断が行える診断士のプロ、としての対応能力とスキルアップの会得

位置づけ：上記診断を行う上で、実施機関と診断士に課せられた研修

参加者：診断士7名（実施機関2名含）

3. 2020年度の「うちエコ診断」について

新型コロナウイルス禍で実施時期が遅れておりますが、自治体と連携して実施していく予定です。

・浦安市市民活動補助金活用事業：下半期の実施を予定

[うちエコ診断実施機関 EC千葉ネット 吉田、佐藤]

実施報告：水環境対策センター

◇浄化槽講習会[美しい作田川を守る会会員向]

2020年2月7日（金）10:00～12:00、東金市3階会議室

今回の講習会は、東金市及び美しい作田川を守る会が主催し、千葉県の支援で開催された。（参加者26名）

EC千葉：吉田理事長よりEC千葉の活動紹介を含めての挨拶で講習会がスタート。講師は水環境対策センターのメンバー上口、久保田、井町の3名。

上口講師より『浄化槽の働きと水の浄化』についてパワーポイントを活用し、受講者と対話しながら浄化槽についての知識向上をはかる参加型講演を行った。実習では、①トイレトペーパー、ティッシュペーパーなどの水への分解差異、②お皿の味噌汚れの落とし方による排水汚れの違い、③コーラ他6種類のpH測定、④水道水の残留塩素測定、⑤透視度測定を受講者に体験していただき、浄化槽の役割と正しい使い方を学習した。

千葉県環境保全センターよりミニカットモデルの展示を頂き、透明なプラスチックで作られた浄化槽の縮小版は、水の流れや浄化される仕組みがとても分かりやすく、参加者の方々は周りに集まって疑問点を質問するなど興味津々でした。その後、千葉県浄化槽検査センターより浄化槽の法定検査についての講習で2時間の講習会は終了した。

以上のように浄化槽講習会では、日々の生活排水の発生場所や水量・汚泥負荷量、浄化槽の基礎知識、維持管理の必要性、法定検査の必要性などを総合的に学習できる。水環境対策センターの取り組みは、単なる講演だけでなく、参加者が体験できる実習を併用することが浄化槽の知識向上になると、主催者および参加者から賛同を得ている。（文責・井町）



見並勝佳氏、有馬富穂氏

令和2年度 ECU 代表理事表彰を受賞

2020年6月29日に開催された ECU(環境カウンセラー全国連合会)総会において、

当協議会理事見並勝佳氏と監事有馬富穂氏が本年度の ECU 代表理事表彰を受賞されました。

お二方のこれまでの EC 千葉における活動に敬意を表し、お祝い申しあげるとともに、今後ますますのご活躍をされ、EC 千葉の発展に貢献していただくようお願いいたします。

(氏名)	(表彰種別)	(功績概要)
見並 勝佳 氏	環境保全 功労賞	平成 25～31 年に EC 千葉の理事長を担われ、EC 千葉の発展に尽力されました。千葉水環境対策センターの立上げや生物多様性研究会の運営に注力し、丸山川の自然観察を推進してこられました。また、エコメッセ等の環境イベントにおいては毎年先頭に立って出展を進めていただいています。 エコアクション 21 地域判定委員等を務め、エコアクション 21 の普及・中小企業の環境経営の推進にも目配り貢献されております。
有馬 富穂 氏	環境保全 功労賞	EC 千葉設立に参加、以来役員として当協議会の活動を支え、発展に尽力されてこられました。(平成 27 年～現在: EC 千葉監事) 最近では、ECU 化学物質リスクアセスメント講座テキスト作成を担当され、また、エコアクション 21 普及セミナーを担当し、EMS 支援センターの事業においても大きな貢献をされています。 ・平成 19 年千葉県知事から千葉県環境賞を受賞 ・H21 年度環境大臣地球環境保全功労者表彰受賞

総務部からのお礼

2019年11月～2020年3月の間に下記の方から
当協議会へご寄付いただきました。

ありがとうございました。

佐藤 ミヤ子 様 20,000 円
濱中 道人 様 15,000 円
有馬 富穂 様 40,000 円
志澤 達司 様 11,719 円
上口 清彦 様 3,000 円
井町 臣男 様 3,000 円
久保田 隆 様 2,000 円

訃報

故 廣川 一 男 様

2020年3月15日に、当協議会設立時からの会員
であった廣川一男様が逝去されました。

生前のご活躍・ご厚誼に感謝し、ご冥福をお
祈りします

広報 環境カウンセラーちば 第 57 号 (発行日 2020 年 8 月 15 日)

発行: 特定非営利活動法人 環境カウンセラー千葉県協議会 (責任者: 広報部長 見並勝佳)
(編集担当: 服部達雄)

事務局: 〒267-0061 千葉市緑区土気町 1584-76

(E-mail) ecchiba-jimukyoku@ecchiba.sakura.ne.jp

(URL) <http://ecchiba.sakura.ne.jp/>

<年会費等の振込先> 郵便振替口座 00110-5-34692

(加入者名 NPO 法人環境カウンセラー千葉県協議会)